

# 研究助成募集要項

## 1 助成対象

日本国内の大学・研究機関等における都市の快適化、都市型公共交通機関、観光事業の活性化と推進に関する研究で、研究助成金に自己負担金等をあわせた研究費の範囲で、1年間で一定の成果が得られる見込みのあるものとします。（\*別紙「研究助成対象範囲」参照）

## 2 応募資格

日本国内の大学・研究機関等に在籍する大学院博士課程在籍から准教授までの資格を有する研究者で、平成30年3月末日現在40歳以下の方とします。

## 3 助成内容

研究助成として1件につき100万円、3件を予定しております。

## 4 応募方法

以下の書類を当財団までご提出願います。なお、提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。

- (1) 平成29年度研究助成申請書（所定用紙）
- (2) 研究の概要書（所定用紙）
- (3) 研究者の経歴書（所定用紙）
- (4) 所属機関の長の承諾書（所定用紙）
- (5) 所属機関の上席者・指導者の推薦書（所定用紙）

\*応募書類は当財団のホームページからダウンロードできます。 <http://www.odakyu-zaidan.or.jp/>

\*応募者の個人情報については、採用審査および研究助成金給付手続き以外の目的に使用することはありません。

## 5 締 切

**平成29年11月30日（木）必着**

## 6 選考と結果通知

当財団選考委員の採用審査を経て決定します。結果は平成30年3月中旬までに通知いたします。

選考委員長	杉山 武彦	(当財団顧問・一橋大学名誉教授)
選考委員	大須賀頼彦	(当財団理事長・小田急電鉄株式会社取締役相談役)
選考委員	太田 勝敏	(当財団評議員・東京大学名誉教授)
選考委員	岡部 憲明	(当財団評議員・岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表取締役)
選考委員	栗田 啓子	(東京女子大学現代教養学部教授)
選考委員	杉山 雅洋	(当財団評議員・早稲田大学名誉教授)
選考委員	利光 國夫	(当財団評議員会議長・小田急電鉄株式会社特別社友)
選考委員	山木 利満	(当財団副理事長・小田急電鉄株式会社取締役会長)

## 7 その他（留意事項）

- (1) 推薦者は共同研究者となることは出来ません。
- (2) 応募者と同等の役職・職階・学位の方は推薦者となることは出来ません。
- (3) 所属機関の長である承諾者は推薦者を兼ねることが出来ます。
- (4) 他の機関から助成を受けている場合でも応募できますが、その旨を明記してください。
- (5) 研究成果を公表される際には、当財団から助成を受けた旨を明記してください。
- (6) 研究助成に採用された方には、当財団奨学生および小田急グループ社員を対象とする講演をお願いすることがあります。
- (7) 研究成果報告書の提出は平成31年1月、選考委員に対する研究成果の発表は同年2月を予定いたします。
- (8) 次の場合には採用を取り消すか、または助成金の返還を求めることがあります。
  - ① 提出書類に虚偽の記載があった場合
  - ② 助成対象とした研究を行わないか、または研究を中止した場合
  - ③ その他研究助成を行うには不適当と考えられる事態が生じた場合
- (9) 応募者が所属する機関等の間接経費・一般管理費（オーバーヘッド）は助成の対象になりません。

### 《お問い合わせ先》

〒160-8309 東京都新宿区西新宿1丁目8番3号  
小田急電鉄株式会社 CSR・広報部内  
公益財団法人 小田急財団・事務局（川崎）  
TEL 03（3349）2473  
E-mail : o-zaidan@odakyu-dentetsu.co.jp  
HP : <http://www.odakyu-zaidan.or.jp>

## 研究助成対象範囲

公益財団法人 小田急財団

次に例示する事項に係る研究とし、その分野は問わない。

### 1 都市の快適化に関する研究

- a 上下水道に関するもの
- b 電力・ガス供給施設に関するもの
- c 電話・CATV等通信・情報施設に関するもの
- d 道路・街路に関するもの
- e 防災・防犯に関するもの
- f 環境衛生に関するもの
- g 交通安全に関するもの
- h 流通等商業施設に関するもの
- i 余暇施設に関するもの
- j 都市緑化に関するもの

### 2 都市型公共交通機関に関する研究

- a 鉄道のサービスに関するもの
- b バスのサービスに関するもの
- c タクシーのサービスに関するもの
- d 公共交通機関相互の連携に関するもの
- e 公共交通機関と一般交通との連携に関するもの
- f 公共交通機関と地域社会の連携に関するもの
- g 公共交通機関が地域社会発展に与える影響に関するもの
- h 公共交通機関が地域社会環境に与える影響に関するもの
- i 駅の機能に関するもの
- j 駅前広場の有効活用に関するもの

### 3 観光事業の活性化と推進に関する研究

- a 観光資源の開発・再生に関するもの
- b 交通インフラ整備に関するもの
- c 景観・環境整備に関するもの
- d 農漁業等、地場産業への影響に関するもの
- e 観光スタイル、行動パターンに関するもの
- f (観光する側、受け入れ側双方の) 意識の変化に関するもの
- g インバウンドの拡大に関するもの
- h 観光産業の継続性 (担い手作り) に関するもの
- i 文化・産業の交流による観光への影響に関するもの
- j 広域観光 (地域連携) による効果に関するもの

以上